



10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[48]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[22]年、階級[司令補] 同様の活動[初めて]、任務[その他:分隊長]
○当事者B	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動[ ], 任務[ ]
○当事者C	年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ] 同様の活動[ ], 任務[ ]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1			
経過2	A	タンク室及びバルブの確認	呼吸器なし(装備なし)
経過3			
経過4	A	関係者立会の下、配電盤の確認	呼吸器なし(装備なし) 活動時間 1分間
経過5	A	配電盤の確認	呼吸器なし(装備なし) 活動時間 2分間
経過6	A	送排風機の設置	呼吸器なし(装備なし) 活動時間 10分間
経過7	A	送排風機の再設置	呼吸器なし(装備なし) 活動時間 11分間
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できなかった。危険事象の対応方法を知らなかった。集中力、注意力がなかった。指揮者が適切に指示しなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	はい
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

関係業者からの「呼吸保護器具等は必要ないと思う」との情報を鵜呑みにし行動した。
-----------------------------------------

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

日頃の体調管理は下より、訓練などを通じて個々の能力や性格を知っておく。それにより、現場活動時に能力に応じた人選が可能となる。

○装備・資機材の対策について

専用資器材の購入を検討(次年度予算計上)。出場時の防火着装及び安全装備品の再確認の徹底。

○活動環境の対策について

市内各事業所、工場等の危険物及び劇物の保有状況の調査を行い、有事の際の活動方法等について検討する。

○指揮・情報伝達の対策について

指揮命令系統及び役割分担の徹底を図り、重要な情報は全体に迅速かつ確実に伝えることを再度確認。